



関西支部報

http://jac.or.jp/kns/

台湾の谷からヒマラヤの谷へ

— 支部長就任の挨拶に代えて —

茂木完治

前支部長の金井良碩氏からご指名をいただき、いろいろ悩みましたがお受けする決心をいたしました。能力不足、未熟ではありますが皆様方の助け、協力を得ながら運営に及ばずながら尽力したいと考えますのでよろしく願いいたします。

ヒマラヤの谷

思えば私は、沢登りばかりやってきました。37年前に台湾の沢を経験してからは、海外に対象を求めるようになりました。日本の谷には私の行けそうな未踏、未記録の谷が数えるほどしかなくなってしまっていたのですが、海外にはそれが無数にありました。

深く大きな台湾の谷、花崗岩スラブが美しいの韓国の谷、いかにもジャングルといった雰囲気の新ギニアの谷、ただただひたすら美しいニュージーランドの谷な

ど。別にむずかしいことをやってきたわけではありませんが、感動し、満足できる多くの未知の谷に出会うことができました。



た。その中で一つだけ避けてきた地域がありました。それがヒマラヤです。ヒマラヤの谷は氷河から流れ出る濁流をイメージしていました。しかし、標高5000m程のピークから氷河の無い谷に目を移せば、清流の谷が無数にあります。それに気付かされたのが3年前、ナンガマリⅡ峰に登った時でした。キャラバンの途中で多くの清流の谷を見ました。沢屋の私はピークに立つだけでは満たされなかったので、ヒマラヤで本格的な沢登りができる谷はないか調べてみました。そしてこの正月に偵察、

7・7 夏季懇親会のご案内

今年も猛暑が予想されています。昼間ではありますが、涼しいところで親睦を深めたいと思います。

多数の参加をお待ちしています。

日 時 7月7日(日) 12:00~14:00
 会 場 ニュートウキョウ 第一生命ビル店
 第一生命ビル地下2階 (JR大阪駅正面)
 ☎ 06-6346-7451

会 費 3,500円
 申込締切 6月25日
 ※当日参加不可
 ※欠席された方は、会費を徴収させていただきます(出欠変更連絡は締切日までに)
 *同封ハガキ(62円切手貼付)にて出欠ご連絡ください。

自然保護行事	22
支部山行計画	21
平成31年度日本山岳会関西支部総会	18
新入会員・会友紹介	17
会務報告	16
山岳・スキー映画の世界	13
劇映画編1	12
武田壽夫	12
嶋岡 章	12
本山寺山森林づくりの会活動報告	12
竜仙房	12
再度山▽鍋蓋山▽仏ヶ峰▽青根ヶ峰▽	12
湧山▽月ヶ瀬▽笠置▽星山▽櫃ヶ山▽	12
ハチ北スキー場▽蘇武岳▽氷ノ山▽岩	12
道山▽柳生街道Ⅱ▽レスキュー講座▽	12
雄鷲台山▽後山▽愛宕山▽霧ヶ山▽入	12
山行報告	3
平成31年関西支部総会報告	2
野口恒雄	1
台湾の谷からヒマラヤの谷へ—支部長就任の挨拶に代えて—	1
茂木完治	1

目次

GWに実行しました。3日間かけて標高2500mまでの試登に終わりました。その後、尾根から源流近くの標高4000m辺りまで登りました。ヒマラヤの峰々が海のような藍色のもやの上に島のように輝いて浮かんでいました。谷は、藍色の海の中に寝ています。峰々と谷を同時に眺めることができ、ヒマラヤの素晴らしさを実感しました。

台湾の谷から始めて40年。ヒマラヤの谷によく辿り着きました。来年のGWにまたアタックして源流まで上がってみたいと思っています。ヒマラヤは素晴らしい谷が多く眠る宝庫です。賛同してヒマラヤの谷を開拓してみようという方がおられましたら声をおかけください。一緒にやってみませんか。

人はそれぞれ夢を持っています。しかし一人ではできないこともあります。仲間と一緒に夢を実現するための受け皿に関西支部はなっしてほしいと思っています。

関西支部 これから

日本山岳会は多くの課題を抱えています。その中の一

つに高齢化があります。関西支部の会員構成をみると70歳以上が2/3、70歳未満が1/3です。10年後には80歳以上が2/3になるのだろうか心配になります。登山道が整備され、小屋が完備され、便利な登山道具も簡単に手に入ります。ツアー登山のメニューも豊富です。つまるところ若い人たちには山岳会は必要なくなっているのでしょうか。

これから入会してくるのは登山を始めて間のない人達で、とりあえず目についた日本山岳会にでも入ってみようという人たちだけかもしれません。とすれば入会した方々に山登りのイロハを教え、彼らの登りたい山と一緒に登ることが必要になってきます。そうすることのできる会にしなければならないのでしょうか。

関西支部のこれからは、育てる会ではないでしょうか。私は始めに書いたように、今まではやりたいことだけをやってきました。しかし若い人を育て、安全な登山ができるようにすることも自分の責務としてやっていきたい。それがお世話になった山への恩返しだと思うのです。

平成31年度 関西支部総会報告

野口恒雄

平成31年4月24日(水)午後6時半より大阪凌霜クラブ・セミナー室にて平成31年度日本山岳会関西支部総会が開催された。

始めに金井支部長より、80周年記念事業が東ネパール登山隊の報告書出版をもって完了したこと、本部の特別事業助成を得て立ち上げた「登山文化研究会」が、年度末に報告書も刊行して順調にスタートできたとの挨拶があった。

議事は水谷副支部長により式次第に基づき進められた。活動報告では平成29年度に発足した安全委員会が、計画書の提出啓蒙や山岳医療専門家の参加を得て安全登山に取り組んでいる状況など言及された。会計報告では関西支部80周年記念事業の完了に伴い、記念事業全体(平成26年～30年度)の会計収支報告を併せて行われた。中村監事から会計処理が適切であった旨の報告を受け、拍手でもって承認された。次に金井支部長より本部規約と支部規約の整合性を図る目的による支部規約の一部改正案が提案された。続いて茂木完治会員を関西支部長に任命するよう本部に上申する件、任期満了に伴う新役員(副支部長・理事)・新監事の推薦者を提案された。それぞ

れの議案は異議なく承認され、役員・監事が選任された。最後に令和元年度活動方針案、会計予算案について提案説明が行われた。会計予算案では、予備費(次年度繰越金)が前年度を下回ることから、支部会計が苦しい状態であることへの理解を要請された。いずれの議案も拍手でもって全て承認された。

その後、会場を階上の老房大阪店に移し、次期関西支部長に上申された茂木会員から抱負を兼ねた挨拶を受けた後、重廣恒夫会員(支部評議員・本会副会長)による乾杯の音頭で懇親会は始まった。出来上がったばかりの『ナンガマリ登山報告書』の配付、平林克敏会員(支部評議員)の近著『エヴェレストが教えてくれたこと』の販売や予約受付などもあり、和やかなひと時を過ごしました。

【参加者】

青木昭 新井浩 新本政子 井関正裕 伊原哲士 今西美沙子 岩崎しのぶ 浦上芳啓 大住洋 大津陸郎 岡田輝子 小黒節郎 斧田一陽 金井健二 金井良碩 清瀬祐司 久保和恵 黒田記代 河野直子 小寺佳美 薦田佳一 坂口和子 重廣恒夫 嶋岡章 城隆嗣 高木知子 田中アキエ 辻和雄 豊田哲也 永井和 中谷絹子

中山勝也 中村久住 中村三佳 野口恒雄 野村珠生
橋本圭之輔 平井一正 平林克敏 廣田猛夫 松仲史朗
水谷透 三宅康子 宗實慶子 宗實二郎 茂木完治 山
田健 計47名

欠席者の近況

- ⌘ 私も90歳になってJRの駅まで700m1回休まなくてはたどりつきません。散歩はしていますが、あんなさけない。 4486 三木 亮
- ⌘ 東お多福山で待っています。たくさん登って下さい。 5262 桑田 結
- ⌘ 春は花粉症のシーズン。それでも金剛山には行っています。その分、夜は苦しい時間を過ごしています。冬は野鳥、春は野草、これから又忙しくなります。山の中で小さな花の姿に出会う時の喜びは何年たっても変わりなくうれしい。 6798 川田哲二
- ⌘ 脊椎管狭窄症をわずらい、治療によりようやく歩けるようになっていきます。現在、歩くことによりリハビリに努めています。低山歩きを始めたいと頑張っています。 7112 羽田英彦
- ⌘ 今シーズンは雪が少なく、山スキーもあまり楽しむことができませんでした。来シーズンは支部の方と一緒に滑ることを期待しています。 8494 安井康夫
- ⌘ ガイド山行のため大変残念ですが出席出来ません。皆さまが素晴らしい山登りを楽しまれる事祈念しています。 10133 三輪文一
- ⌘ 関西支部在籍中は皆さまと楽しくお顔を合わせ大変お世話になりました。小生も91歳となり8年前北海道に居を移しましたのでお会いすることもできなくなりましたので今期を持ちまして残念ながら退会させていただきます。沢山の思い出を感謝と共に今後益々の皆様の

- ご隆盛をお祈りしております。 13382 赤山伸夫
- ⌘ 月2回の割合で山行しています。テーマは低山、里山めぐりでしょうか。ちょうど北スペイン旅行とバッティングし欠礼します。残念です。 14289 村田悌章
- ⌘ 第7回小島鳥水祭にご参加いただき、ありがとうございました。四国の4000山も虚空蔵山のみとなりましたが、皆様と一緒できることを楽しみにしています。 14313 小林京子
- ⌘ “ガン!”それは夢想だにしなかった。主治医の先生から宣告を受けた時に頭を貫いた感慨であった。75年の生涯、体にメスを入れたことがないのを半ば自慢にしていた者にとって、それは厳しすぎる「前田さん、あなたは“大腸癌”です」の言葉だった。2箇所あった癌はI～IIステージで外科的手術で除去することができ、体の他の部位への転移もないことがわかった。この小文が掲載される頃には山へ復帰できていることを願っています。 14322 前田正彰
- ⌘ 最近はどう行きたいところへ行けなくなってしまいました。やむを得ずできるだけまわりの皆さんに迷惑をかけないで行ける場所を選んで、ポツリポツリと歩いています。 14337 山崎 詮
- ⌘ 魚津市で寄合があり欠席させていただきます。時間があれば地元山岳会のグループに同行して僧ヶ岳か鳥帽子岳に登りたいと思っています。 15328 魚津清和
- ⌘ GW前で忙しく仕事の都合がつきません。残念ながら欠席させていただきます。GWまで私の冬は続きます。(笑) 16126 馬島有美
- ⌘ 支部の皆様のお陰で元気に山行を楽しんでいます。 90029 金川清弘
- ⌘ 会友になりたての新人なので、これから山行に参加させて頂こうと思っています。 90031 野村 康

支部山行報告

支部山行18-40 陽だまり山行
雄鷹台山～後山

岡田輝子

1月6日(日)曇時々晴

毎年「陽だまり山行」でお世話になっている須磨岡さんが、集合のJR播州赤穂駅で新年祝いの材料を満載し

た車で迎えて下さる。先回りして荷を赤穂ピクニック公園に置いて逆コースで合流の予定とか、ありがたくて頭の下がる思い。

今日は、どんよりとした寒空なるも新年を祝う関西支部の今年最初の山行。駅前から数分歩いたところが登山口。目の前には、長い階段が天に向かって延びている。一登りで「一合目 海拔46mふもとから136m二合目ま



展望のいい二合目に到着 写真提供：豊田哲也

で132m」と丁寧な標識。階段はなおも続き、不揃いの段差に変わり、鎖もあり、急登が続く。視界が開けてくるや道の左右に赤い前掛けをしたお地藏さんが点在し始めて二合目、小休止。眼下に大石神社、赤穂城、突端には兵庫県の標高最低山の唐船山(19m)、大展望は播磨灘に浮かぶ小豆島。左に目を転ずれば、家島諸島、海面の一部が照らされてモノクロの世界に光明が射す光景に見入ってしまう。このあたりからは傾斜もゆるやかに、道の両側に冬枯れとはいえ見事なドウダンツツジが続き、ちらほらと赤く咲く椿の山道をしばらく歩いて鉄塔をくぐるところに東屋があり、給水。ほどなく十合目の頂上に着く。雄鷹台山、標高253m。この頂上からは赤穂市街が一望でき、昔はこのデルタに塩田が広がり、全国的に有名な「赤穂の塩」の恵みで赤穂藩の財政を支えたと説明板があった。頂上からはウバメガシの落ち葉と小石交じりの急坂を下り、登り返して後山。三等三角点があり、ベンチには須磨岡さんがお待ちかね。後山からの稜線は、防火帯の広い道が続く。岩山のピークを踏んでシシ鍋会場へ予定通り下る人と高山の三角点を踏みに行く健脚組とになったが、皆が揃ったところで、金井支部長から新年の乾杯とご挨拶、シシ肉のステーキと熱いシシ鍋料理で満腹となった。もちろん新年の祝い酒もふるまわれ、至れり尽くせりの至福の時間を過ごした。

遠慮気味の太陽の下「陽だまり山行」は心地よい気分で駅までの小一時間も談笑しながら和気あいあいの雰囲気。予定通りの新快速に飛び乗り、感謝のうちに夢見心地を堪能して家路についた。

【コースタイム】

播州赤穂駅10:00～10:10登山口～10:19二合目～10:49七合目東屋～11:08雄鷹台山～12:07後山～13:15赤穂ピクニック公園15:10～16:00播州赤穂駅

【参加者】

須磨岡輯 山内幸子 新井浩 浦上芳啓 岡田輝子 金

井良碩 嶋岡章 豊田哲也 中島隆 中山勝也 橋本圭
之輔 前田正彰 会員外1 計13名

支部山行18-41 しっかり歩こう つつじ尾根～愛宕山～水尾

山内幸子

1月20日(日)雨後曇

午後から雨の予報であったが、朝から雨で保津峡駅から小雨の中を歩き出す。つつじ尾根の入口を間違っただけで反対方向に進み、取り付くのにロスタイムが生じた。

つつじ尾根への取り付きは結構急な登りであったが尾根に出るとゆるやかな道で、幸いにして雨も上がり、冬枯れの散歩道のようにとても歩きやすくなる。泥んこ道になっているであろう表参道に比べるとこちらの方が本当にお勧めの道であるが、少し長いのが難点と言えるだろうか。荒神峠(長坂峠)まで1時間、それから50分程の登りでやっと表参道と合流し、すぐに水尾道別れに出る。やはり表参道は雪が少なく泥んこ道であった。今日は登山者が少なく、泥んこ道を愛宕神社に向かって緩く登っていく。昨秋の台風で太い木が何本も倒れており痛々しく感じた。

登山者休憩所で昼食をとる。屋根があり助かるがやはり時間がたつにつれ寒さがジンジンと堪えだす。寒いし時間も押してきているので朝日峰へは行かず、三角点を踏んで保津峡に戻ることにする。ストーブのある愛宕神社参拝者休憩所で暖をとり、神社にお参りしてお神酒を頂く。雪を踏んで三角点(889m)まで行く。ガスの中で展望もきかず残念なり。来た道を引き返して水尾道を下る。水尾の里に出たが、丁度バスが出たところだったので保津峡駅まで歩き、今日の山行を終えた。

【コースタイム】

保津峡駅09:55～10:20つつじ尾根入口～11:25荒神峠～



愛宕山三角点にて 写真撮影：山内幸子

12:12表参道合流～13:00登山者休憩所13:30～14:25愛宕山
～15:00水尾道分岐～15:50水尾～17:00保津峡駅

計5名

【参加者】

久保和恵 永井和 深澤優子 山内幸子 計4名



入道山山頂にて 写真提供：重廣恒夫

支部山行18-42 4000山グランプリ

霰ヶ山・入道山

廣田伸治

初めて支部山行に参加させてもらった。雪不足と言われた今シーズンもようやく雪山を楽しむのに十分な積雪を見ることができた。天候の悪化により計画していた入道山から霰ヶ山への縦走を、大仙屋敷集落をベースにしたアタック形式の往復となった。

1月26日(土)雪

津山駅からタクシーで大仙屋敷集落に向かう。昨夜からの積雪で道路も除雪車がなければ通過できないほどの状態だった。降車地点そばの民家の軒下で雪を避けながら出発準備。雪と共に雷鳴も聞こえてくる。沢沿いの林道から膝程度のラッセル。堰堤そばの尾根の取り付きから急登となり、途中何度か林道が横断。尾根は藪が埋まりきらず歩きづらい。標高950mを超えるあたりから斜面は広くなだらかな頂上台地に到達した。時折、横殴りの風雪を受けて間もなく1074mの霰ヶ山ピークに立った。あまりの寒さに記念撮影を済ますと急ぎ下山。夕闇間際に入山地点へ戻りBCを設営した。

1月27日(日)曇時々晴

大仙屋敷からヘッドランプをつけてスタート。上杉峠手前から稜線上に上がるとなだらかな稜線が入道山まで一直線に延びている。稜線上は昨日と違い藪もなくとにかく展望も良く気持ちが良い。振り返ると富栄山、大空山、乗幸山の山並みが素晴らしい。急登もなく心地よいペースで気が付けば入道山のピーク(1040m)に立っていた。藪もないことから下山も終始心地よし。タクシーの待つ大仙屋敷までは時間の余裕もあることからゆっくり心地よく下り、今回の山行を終えた。

※当初予定「北陸・奥獅子吼山」を変更して実施

【コースタイム】

26日 大仙屋敷12:20～769m 地点13:25～霰ヶ山15:40～769m 地点17:04～大仙屋敷17:48

27日 大仙屋敷05:08～上杉峠06:36～867m 地点07:27～入道山09:21～上杉峠11:15～12:23大仙屋敷

【参加者】

黒田記代 重廣恒夫 豊田哲也 立野里織 廣田伸治

**支部山行18-43 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く14
柳生街道コースⅡ**

尼子章子

1月31日(木)曇後雨後曇

降水確率80%の中、曇天の近鉄奈良駅を出発した。奈良公園を鹿と出会いながら東海自然歩道の分岐へと進む。汗ばんできたため衣服調節、トイレ休憩を済ませ、滝坂道入口を通過し、溪流沿いのなだらかな上り坂を気持ちよく歩く。途中、寝仏(以前は傍らの岩壁にあった立ち仏だったが、転がり落ちて寝仏になったらしい)、夕日観音、朝日観音を見ながら歩くうち、小雨が本降りになった。首切り地藏休憩舎に着き、屋根の下で早めの昼食をゆったりとることができた。ここから石切峠を目指し、歩を進める。途中、芳山への立ち寄り組と、コース前進組とに分かれる。私は後者で峠茶屋では、気温も下がり寒さも増してきたため、生姜湯をいただき、ほっとできたひと時だった。

次に円成寺に向けて出発。蠟梅や満開の紅梅などの香りや花々に癒されながら山里を歩く。雨が一段と強くなり、道路を雨が流れるようになる。その時、参加者の靴底が剥がれるアクシデント。魚津さん達がテーピングテープで応急処置して、無事円成寺に到着できた。この頃には雨が曇に変わり、ますます冷えてきた。山門付近で芳山立ち寄り組と合流し、山門にて集合写真を撮る。円成寺から少し下り、忍辱山バス停へ。バスにて近鉄奈良駅に戻り、無事解散した。

【コースタイム】

近鉄奈良駅09:37～10:34滝坂道入口～11:28首切り地藏休憩舎12:03～12:31石切峠～15:04円成寺～15:59忍辱山BS 16:07(バス)16:41近鉄奈良駅



軒先を借りてバスを待つ 写真提供：魚津清和

【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 新井浩 浦上芳啓 田頭夏子 野村哲夫 橋本圭之輔 宗實二郎 秋月修次 浅田博三 木村早苗 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 淡野隆久 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江 会員外1 計20名

支部山行18-44

レスキュー講座

茂木完治

2月3日(日) 13:00~16:30

大阪市消防局東成消防署の講師の指導でAEDの使用法や心臓マッサージを学びました。

【会場】セルロイド会館大会議室

【参加者】

江村俊也 岡田輝子 黒田記代 小阪健一郎 辻和雄 豊田哲也 中久保忠伸 野口恒雄 松仲史朗 茂木完治 山内幸子 若林朋世 会員外2 計14名

支部山行18-45 スキー山行

ハチ北スキー場

野口恒雄

2月15日(金)晴

新大阪駅8時発のスキーバスに乗車、途中1回の休憩を入れても昼前にはハチ北スキー場に到着。三ノ宮バス組や現地集合組も昼食時に全員集合。午後はゲレンデを滑走する。しかし1本目のリフト乗車時にリフト券を風に飛ばされる一幕あり。皆さんにご迷惑をかけた。好天なのでリフトを乗り継ぎゲレンデトップの鉢伏山頂に登って、滑降を開始。スカイロードからパノラマゲレンデ、マロニエ広場から中央ゲレンデ、野間ゲレンデへと下る。ノンストップで滑るので足にくる。足手ま

といになってはと感じたので慣れるまで一人で中央ゲレンデを滑る。もう切り上げようかと野間ゲレンデへ滑り込んだところで、メンバーと合流しティータイム。夜はすき焼き、食後は部屋に戻っての二次会となる。

2月16日(土)雨後曇一時晴

夜半から降り出した雨は朝になっても降り続き、ゲレンデはガスに包まれている。強風下、鉢伏山を越えて反対側にあるハチ高原スキー場にリフトで移動する。こちら側は風も無く、太陽も顔を出して眩しいくらいだ。各コースを一通り滑った後、合歓の木山荘で寛ぐ。良かった天気も午前中だけのようで、再び風も出てきたのでリフトが止まる前にハチ北スキー場に戻る。上部はやはりガスっていて視界が悪い。全員スイスイと滑って降りる。しかし、こちらは5年振りなのでよたよたついて行くありさまだったが、楽しい2日間だった。



ハチ高原スキー場にて 写真提供：小黒節郎

【参加者】

小黒節郎 金井健二 久保和恵 辻和雄 宗實二郎 山内幸子 山下政一 山田健 野口恒雄 会員外1 (15日のみ) 柴田美生子 馬島有美 計12名

支部山行18-46 4000山グランプリ

蘇武岳

重廣恒夫

蘇武岳は但馬山脈の中央に位置し、日高町に生まれた植村直己さんが少年時代に登った山である。1970年の日本山岳会によるエベレスト登頂時の大先輩である大塚博美さん(2018年逝去)を「語る会」が2月3日におこなわれた。席上、植村直己冒険館の館長にお会いし、月末に蘇武岳に登る話をしたところ登山口まで送迎をもらえることになった。

2月23日(土) 晴

八鹿駅で吉谷館長と合流、車で林道輝山日高線のゲートまで送ってもらう。歩き始めてすぐに女郎滝を見る。例年になく雪が少ないので、林道をそのまま進むのも軟弱と分岐から左手の道に入り金山峠に向かったが、思わぬ難路で途中から引き返す。林道に復帰し、しばらくは壺足で歩いたが、その後足首以上にもぐり始めたのでワカンをつける。金山峠を右に分ける三叉路から、広域基幹林道妙見・蘇武線を進み記念碑に着いたのは暗くなってからであった。東屋に吹き込んだ雪を取り除いて2張のテントを張った。

2月24日(日) 晴

記念碑を出発し、稜線通しに蘇武岳に向かう。ここからはアイゼンの世界である。頂上(1074m)に到着する頃、東の彼方から朝陽が射ってきて皆の顔が朱に染まり、西方には氷ノ山から扇ノ山の山並みが浮かびあがる。頂上には地元が生んだ孤高の単独行者加藤文太郎と偉大な冒険家植村直己の顕彰碑がある。奇しくも2人は単独行で名を馳せたが、生まれ育った地勢に関係するのかも知れないと思ったりした。頂上から南に少し戻り雪庇の切れ目から蘇武岳登山口に下った後、緑資源公団作業道を名色に下った。駐車場からは吉谷館長の車で植村直己冒険館に寄る。館内を見学した後、八鹿駅まで送ってもらい今回の登山を終えた。

植村直己冒険館では来年5月に「日本山岳会エベレスト登頂50周年」のイベントを開催予定である。

【コースタイム】

23日 輝山日高線ゲート 11:51~14:45 林道分岐~16:16 三叉路~18:13 記念碑東屋

24日 東屋 05:43~06:31 蘇武岳~07:46 大杉山分岐~08:59 蘇武岳登山口~10:49 作業道分岐~12:37 名色第6駐車場

【参加者】

黒田記代 松仲史朗 立野里織 久保和恵 重廣恒夫 計5名



朝陽さす蘇武岳山頂 写真提供：重廣恒夫

支部山行18-47 ゆるやか山行

2月28日(木)実施予定は、中止しました。

支部山行18-48 しっかり歩こう

氷ノ山

松仲史朗



千本杉ヒュッテ前にて全員集合 写真提供：井上達男

3月2日(土) 晴

神戸大学山岳部とOBの皆様のご協力を得て楽しい山行をさせていただき心から感謝いたします。

八鹿駅に集合し、鉢伏口までバスに乗る。リフト乗り場の駐車場で神大山岳部OBでもある山田さんの出迎えを受け、登行リフトを乗り継いで国際スキー場にかかる。装備を整え、ゲレンデ左手の東尾根登山口にある石碑の横から東尾根避難小屋を目指す。避難小屋で一息入れ、雪の少ない尾根を登る。一の谷休憩所手前には雪庇の名残もあった。急な斜面を登りきると、緩やかになった雪原をトラバースしてブナ林に囲まれた神大千本杉ヒュッテに至った。

当初の計画ではぶん回しコースを歩く予定であったが、雨の予報なので今日中に氷ノ山山頂を踏み、明日は東尾根を下ることになった。しばし休憩後、山頂を目指す。ブナ林を抜けて緩やかな斜面を進むと山頂避難小屋が見えてきて氷ノ山(1510m)に登頂。山頂からのパノラマは素晴らしく、灌木にはエビの尻尾も残っていた。記念撮影を済ませてヒュッテに戻る。夕食は美味しい大鍋のごった煮をいただく。食後は、ストーブを囲んで大いに喋り、飲み、盛り上がった。

3月3日(日) 曇

起床するとすぐに温かいコーヒーが出された。朝食後、山岳部の皆様と一緒に下山。雪が堅いのでアイゼンを履いて東尾根を下る。見応えあるブナの木々の中を歩き-

の谷休憩所まで気持ちよく下る。雪の無くなった箇所では、たくさんのイワカガミかイワウチワの葉を見つけた。コブシの蕾も膨らんでいた。慎重に尾根を下り、東尾根避難小屋を通過し、東尾根登山口に到着。今日をもって今シーズンのリフト営業終了なのでスキーヤー達も心置きなく滑っているようだった。車で神大の合歓の木山荘に寄り、赤海老の網焼きなどの歓待を受けてくつろいだ後、八鹿駅まで送ってもらった。

【コースタイム】

2日 氷ノ山国際スキー場12:45～12:55東尾根登山口～13:33東尾根避難小屋～14:32一の谷休憩所～15:30千本杉H16:18～16:53氷ノ山～17:24千本杉H(泊)

3日 千本杉H08:40～09:00一の谷休憩所手前～09:35東尾根避難小屋～10:12東尾根登山口～10:20氷ノ山国際スキー場～10:55リフト乗り場駐車場

【参加者】

山内幸子 新本政子 井上達男 岩崎しのぶ 江村俊也
久保和恵 薦田佳一 辻和雄 永井和 野口恒雄 松仲
史朗 水谷透 宗實二郎 山田健 横山規江 神戸大山
岳部・山岳会6 計21名

支部山行18-49 親睦山行 岩湧山

豊田哲也

3月10日(日) 雨後曇

親睦山行には参加者4人と、ちと寂しかったが少人数のおかげで親睦は深まった。このところ山行の度に雨で、今回も雨具を着てのスタート。1日ズレておれば晴なのにと、がっくりした。しかし登山口からは、雨も止み、登山中殆ど雨に遭うことはなかった。カキザコまでコースタイムより10分速いペースで、80歳の橋本さん



山頂への登り 写真提供：豊田哲也

はじめ皆元気だ。結局ゴールまでほぼコースタイム通りで歩いた。山頂付近は茅場になっており見晴らしもよく金剛山、葛城山、二上山から六甲山、あべのハルカス、PL平和塔が見渡せた。4月には山焼きが行われ、人の手により茅の草原は守られている。山野草にはまだ早かったが紀見峠まで楽しく山行を終えた。

【コースタイム】

登山口09:58～10:32カギサコ～12:22岩湧山山頂～13:42五ツ辻～14:28三合目～15:47紀見峠駅

【参加者】

黒岩敦子 黒田記代 豊田哲也 橋本圭之輔 計4名

支部山行18-50 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く16 木津川コース

金井健二

3月21日(木・祝) 少雨後晴

雨のなかを歩いた12月忘年山行に続き、今年のゆるやか山行も催行日の木曜日は何故か雨模様になる。1月は雨天決行、2月は雨天中止、3月も前後は晴なのに当日の木曜日はまた雨の予報。午後の回復に期待して少雨決行となった。少雨の奈良盆地を横断してJR月ヶ瀬口駅に集合したときは幸いにも雨も上がり、曇り空に時々晴れ間が見えるようになり雨具不要になった。聞けば「ゆるやか山行」も初回の東山36峰から満10年が経ったそうである。体力の衰えで参加もままならなくなってきたのも、むべなるかなである。その間一度も報告文を書いていないからと久保リーダーより感想文を命じられた。

高山ダムを過ぎるとコースは木津川沿いのアップダウンの少ない道となり、溪谷美を楽しみながら恋志谷神社で前半を終了。この間、山内さん担当で元気な10名は二つの三角点踏査に参加。南大河原集落の中ほどにある恋志谷神社の清楚な境内で全員が合流、記念撮影と大休止をする。大河原駅へエスケープする人もなく、後半も全員好天下の木津川の溪谷美を愛でながら笠置駅までを完歩した。私自身も、この支部報へのレポートを引き受けた以上は、「途中エスケープは許されませんが」と揶揄されながらも何とか歩けたことに満足した。

【コースタイム】

月ヶ瀬駅10:15～11:25高山ダム～12:00道路脇の公園12:35～13:07恋志谷神社13:55～15:12布目川発電所～15:50笠置駅

【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 新本政子 内田昌子



高山ダムへの道 写真提供：魚津清和

金井健二 川久保美生子 黒田守彦 金銅八千代 嶋岡章 高木知子 田頭夏子 野村哲夫 橋本圭之輔 菱田克彦 廣瀬健三 松波幹夫 山下政一 秋月修次 浅田博三 金川清弘 岐部明弘 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江 (京滋)内田嘉弘 計30名

支部山行18-51 4000山グランプリ
星山～扇山～五輪山～櫃ヶ山

立野里織

3月23日(土) 曇後雪

岡山駅からバスで中国勝山駅へ向かう。今にも雨が降りそうな曇り空。中国勝山駅からタクシーで登山口に到着した時には、粉雪が舞っており、雨具を身に着け出発した。積雪は無く、寒くはない。整備された緩やかな傾斜の登山道を歩く。P901で小休憩したのち、星山へ向かう。到着した星山(1030m)は、周囲は霞んでいて眺望はまったく望めなかった。

降り続く粉雪のため雪が積もり始めた。眺望のない尾根を進んでいく。途中、わずかに流れる沢の水を取水し、テント泊できそうな場所を探しながら歩きつづける。扇山(943m)を通過し、P941を越えたところが暮営地となった。テントを張り、一息ついて外に出ると、雪はやみ、晴れ間が見え、夕暮れ時のオレンジ色に染まった空が美しかった。

3月24日(日) 曇

4時起床。5～6cmの雪が降り積もっている。念のために持参した軽アイゼンを装着し、暗い中、5時半出発。10分ほどで明るくなってきた。15分ほどで五輪山(980m)に到着。これから向かう雪化粧した櫃ヶ山が堂々と聳え立って見える。アイゼンに付着する雪だんごをたびたび

払い除けながら、雪の下の粘土状のぬかるんだ土は滑りやすく注意しながら歩く。櫃ヶ山の背後から差し込む美しい日の出を拝みながら一步一步櫃ヶ山に近づいていく。櫃ヶ山(953m)に到着。山頂は開けていて、眼下には町並みがみえた。標高600mを下ったあたりから登山道の雪が消え、アイゼンを外して歩いた。櫃ヶ山登山口に到着。さらに下って、バス停へ。下山すると晴れていた。コミュニティバスに乗って、中国勝山駅へ向かった。

【コースタイム】

23日 星山東口登山口10:48～12:18八合目～12:31星山～14:19扇山～15:23暮営地

24日 暮営地05:27～05:45五輪山～06:52櫃ヶ山～08:59櫃ヶ山登山口～09:14久納BS

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 中村三佳 立野里織 計4名



櫃ヶ山の肩から御来光 写真提供：重廣恒夫

支部山行19-01 六甲山を歩く
こんなところに城跡が？

横山規江

4月6日(土) 晴

ハイキング日和で、新神戸駅にも多くのグループが集まっていた。まず、城山「瀧山城跡」目指し、いざ出発！が、数分も歩かないうちに他のグループにつられ登山口を間違え、戻り仕切り直し。ロープウェイのゴンドラ夢風船を頭上に、横にと見ながら登って行った。道中、たくさんの落下した椿の花に満開時は綺麗だったろうにと想像しているうちに立派な瀧山城址の石碑前に着いた。ここで小休憩。

次は再度山「多々部城跡」。山門からどこまで続くのかと思う程の石段を登ると弘法大師ゆかりの大龍寺がある。唐への留学の安全祈願に訪れ、道中守護してくれた龍に感謝して再度登られたので再度山と呼ばれるようになったそうだ。更に少しの岩場を登ると再度山頂上に着



猩々池にて 写真提供：横山規江

いた。狭くはあるがここが多々部城跡らしく小休憩。下ると、急にハイカーと出会うようになった。さすが六甲山のメインストリート！歩き易い。鍋蓋山頂に着き昼食。

下山は七三峠を通過し、予定の東尾根は巨大な大木が根こそぎ倒れひどい地滑りを起こし、とても通行は出来ない。そこを横目に見ながら大師道に続く道も荒れ、倒木の枝を踏みつけ滑り易い傾斜地を歩いた。林道になり、満開の桜と猩々池バックに集合写真を計画していたリーダーはがっかり！池には全く水は無く、桜も二分咲き。

最後は花隈公園「花隈城跡」。神戸山手大学まで下ると満開の桜に迎えられ、最終目的地の公園へと。花見客の宴会たけなわ。なんとピザも、飲み物はワインかなと想像しながら、ここ花隈駅近くで解散した。

【コースタイム】

新神戸09:10～10:09城山～10:55大龍寺～11:15再度山～11:56鍋蓋山12:25～12:40七三峠～13:05二本松林道～13:27猩々池13:40～14:41花隈城址

【参加者】

松仲史朗 橋本圭之輔 小黒節郎 横山規江 計4名

支部山行19-02 しっかり歩こう

蜻蛉の滝～仏ヶ峰～青根ヶ峰～高城山

関戸京子

4月7日(日) 晴

今日は吉野に向かう。もちろん桜も目当てのひとつだ。車窓から桜が見事に咲いているのが見え、期待が高まった。登山口のあきつの小野公園の桜は七分咲きで枝がピンク色に染まっていた。

登り始めると直ぐに蜻蛉の滝がある。9月に来た時は見事な水量を誇っており、滝つぼの麓まで下りて渦まき水の勢いに見とれたが、今回は水量がとても少なかった。溪沿いの道から尾根を目指して登り続けて仏ヶ峰(669m)へ、昨日までの寒さがうそのように汗が流れる。こ

こからは稜線にそって緩やかに登ってゆく。時折ふく風がさわやかだ。土居山(759m)の三角点は頂上から少し下った場所にあった。林道をたどり青根ヶ峰(858m)に到着。我々はここでゆっくり昼食をとった。さすがにこの時期登山者も多い。ここ吉野では杉や古い木を伐採し、新しく桜を植えて桜の名所たらんとしている現状を熱心に話してくれた人もいた。

昼食後、西行庵に向かう。残念ながら桜の花は全く見当たらない。しかも山の木は伐採され、斜面には切り株だけが残されている。しかし、よく見ると桜の若木が植えられており、固いつぼみがついていた。開花まではまだまだだのようだ。西行庵から金峯神社へ、高城山展望台へと舗装された道を歩く。桜はちらほら花びらが見える程度でせいぜい三分咲きか。下におりればと期待してそのまま下ったが、人波に押されてかえって疲れた気がした。ロープウェイ乗場から舗装道を外れ、ほっとした思いで吉野駅に下った。やはり舗装道より山道が良い。

今年になって初めての登山で、桜の開花には少し早すぎたが、天候に恵まれた楽しい一日だった。おそらく翌週だったら桜は満開だったろう。



まだ早かった吉野の桜 写真提供：豊田哲也

【コースタイム】

あきつの小野公園09:19～10:35仏ヶ峰～11:23土居山～11:53青根ヶ峰12:20～12:48西行庵～13:10金峯神社～13:59吉野水分神社～14:50金峯山寺～15:21近鉄吉野駅

【参加者】

山内幸子 岩崎しのぶ 関戸京子 豊田哲也 永井和野口恒雄 深澤優子 黒岩敦子 計8名

支部山行19-03 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く17 童仙房コース

菱田克彦

4月18日(木) 快晴

ゆるやか山行最大の参加者数34名。JR加茂駅に集合し、バスで原山まで移動。下車後準備運動をしてスタート。

これ以上ないという晴天で、足どりは軽やかになる。道の両側に茶畑が広がり、作業用車両が走る道のように、急な坂もほとんど舗装されている。途中自然歩道から外れて、419.1mの三角点に立寄る。尾根の最上部付近にも茶畑がある。下って童仙房へ。



山頂部までもが茶畑 写真提供：菱田克彦

童仙房は明治時代に開拓され、今年で開拓150年とのこと。泥洹(ないおん)寺の参道に休憩所があり、お腹もすいていたが、小休憩のみ。過疎化が進んでいるようで、昼食は廃校となった童仙房小学校の校庭でとる。

廃止された保育園を利用したレストランでトイレを借り、集合写真を撮って出発。この辺りではサクラがまだ満開。多くの野草も花を咲かせている。峠を一つ越えて、次の集落野殿へ。ここからは下りだが、メンバーのペースにばらつきがあり、列が長く長く延びる。途中エスケープルートの分岐があり、予定よりも遅れていたため、そちらに行くことも考えたが、その下りはちょっと危険な感じで、大人数で行くことには不可と判断し、本来の道に行く。

最後は、月ヶ瀬口駅近くの道の駅「お茶の京都みなみやましる村」でお土産を買ったり、喉を潤したりして、お疲れ様！ 1日中、快晴で爽やかな山行でした。

【コースタイム】

原山BS09:19~10:41尾根最上部~11:30林道出合~11:52泥洹寺~12:09童仙房小学校跡地13:10~13:59野殿~15:50押原~16:07道の駅~16:46JR月ヶ瀬口駅

【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 新本政子 上田典子
内田昌子 岡田輝子 黒田記代 黒田守彦 薦田佳一
坂口和子 高木知子 田頭夏子 野口恒雄 橋本圭之輔
菱田克彦 廣瀬健三 深澤優子 松波幹夫 松村文子
松村竹次郎 山崎詮 山下政一 浅田博三 金川清

弘 木村早苗 黒岩敦子 田中アキエ 淡野隆久 中田栄
播戸日出生 横山規江 (京滋)内田嘉弘 会員外1計34名

登山計画書(届)の提出を！

遭難対策として登山計画書を提出してください。
計画書の作成は、より豊かな山登りへの第一歩です。

- ・個人山行を含む全ての登山や日帰りハイキング
- ・緊急連絡先(留守本部)は家族でも可
- ・出発の直前でも提出可
- ・やむをえない場合は未完成でも可

□提出先：関西支部安全委員会

- ①メール：keikakukansai@yahoo.co.jp
 - ②FAX : 0742 (48) 5946 黒田記代
 - ③郵送：〒630-8034奈良市五条西1-29-4 黒田記代
- ※別途、地元警察署等へも提出してください。

個人山行(2019年1月~3月)

※安全委員会に提出された個人山行登山計画書

1月5日	箕面	六個山
1月7日~9日	紀中	白馬山・清冷山・矢筈岳ほか
1月11日~14日	三重	綱掛山・姫越山ほか
1月12日~13日	広島	高尾山・呉婆々山ほか
1月13日	北摂	中山最高峰
1月13日	北摂	竜王山
1月14日	比良	釈迦岳
1月18日	京都	大岩山
1月20日	泉南	雨山
1月27日	湖東	緞山
1月27日	大峰	天和山
2月7日	葛城高原	二上山・雌岳
2月9日	熊野古道紀伊路	海南~紀伊宮原
2月9日~11日	南ア	甲斐駒ヶ岳
2月10日	但馬	金香瀬山
2月11日~12日	大峰	八経ヶ岳
2月12日~15日	石垣島	の山々
2月16日~17日	八ヶ岳	赤岳鉾泉・行者小屋
2月17日	摂津	本山寺山芥川D沢
2月17日	河内	高尾山
2月18日~22日	台湾	七星山・茶壺山
2月23日	京都北山	天ヶ岳
2月23日~24日	熊野古道	加茂郷~湯浅
2月24日		金剛山

3月9日	北ア 乗鞍岳
3月9日	生駒山系 国見山～交野山
3月12日	金剛山
3月13日	大峰 白川又川
3月13日	金剛山
3月13日～14日	鈴鹿 藤原岳・御池岳
3月14日～21日	長崎 五島の山
3月15日	金剛山
3月16日～17日	両白山地 奥獅子吼山・後高山
3月17日	北摂 ポンポン山不動谷左俣
3月18日	金剛山
3月20日～21日	大和葛城山
3月21日	岩湧山
3月22日～24日	東北 安達太良山
3月23日～24日	阿寺山系 下呂御前山
3月24日	金剛山
3月24日	北摂 ポンポン山
3月27日	京都東山トレイル 稲荷山～栗田口
3月27日～28日	金剛山
3月30日	金剛山妙見谷

3月30日	大和葛城山・二上山
3月30日～31日	北ア 唐松岳
3月31日	鈴鹿 宮妻溪カズラ谷

『山行ひろば』 開催案内

個人山行の仲間を見つけませんか。

現在、夏山山行計画として八ヶ岳、北アルプスの縦走が提案されています。これ以外の山域の計画も歓迎です。

「山行ひろば」にて、日程や行程を話し合います。「山行ひろば」に出席できなくても、夏山山行への参加を希望する会員は黒田までメール下さい。

支部ルームに集まり、登りたい山の話を楽しみましょう。

- ・7月31日(水) 18:30～20:30
- ・9月25日(水) 18:30～20:30

(担当：黒田記代 e-mail : kuroda2822@kcn.jp)

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(1月～3月)

武田壽夫

2019年1月3日(木) 9:30～15:30

天 候：晴(12時の気温：2℃)

エリア：本山寺境内と作業小屋周辺(45林班に-01)、活動地巡視(45林班)

内 容：安全祈願と本山寺初寅会参観、林床整備と枯損木除伐、活動地案内

【参加者】 石原順子 斧田一陽 河野直子 倉谷邦雄
黒山泰弘 越野雅美 杉本佳英 武田壽夫 中村賢三
福西勇之助 山田真也 宮本廣 体験参加5 計17名

2019年1月12日(土) 10:00～16:30

天 候：曇時々雪

エリア：作業小屋とその北西の山腹(45林班に-01)

内 容：小屋内の用具掛け設置と林床整備

【参加者】 倉谷邦雄 宮本廣 山本國雄 計3名

2019年2月2日(土) 9:30～15:30

天 候：晴

エリア：里道とその周辺(45林班に)

内 容：指導標の設置と里道・作業道の倒木・中折れ木の除伐

【参加者】 倉谷邦雄 宮本廣 山本國雄 計3名

2019年2月7日(木) 9:30～15:30

天 候：曇

エリア：モニタリング調査区と斜面(45林班に)

内 容：林床整備と作業道の整備

【参加者】 石原順子 内海宏一 斧田一陽 越野雅美
工藤貴志 後藤和子 武田壽夫 山田真也 宮本廣 山本國雄 計10名

2019年2月8日(金) 13:30～16:30

天 候：曇時々晴

エリア：「44林班」

内 容：大阪さともり地域協議会の活動地実査の案内と説明

【参加者】 斧田一陽 武田壽夫 地域協議会2 計4名

2019年2月17日(日) 9:30～15:00

天 候：曇時々霰(気温：2℃)

エリア：作業小屋周辺(45林班に-01)

内 容：林床整備・枯損木などの除伐

【参加者】 石原順子 泉家恵子 後藤和子 武田壽夫
 (午前) 宮本廣 山本國雄 計6名
 ※(送迎サポート) 斧田一陽

2019年3月14日(木) 9:30~15:00

天 候：曇一時霰(気温：2℃)
 エリア：作業小屋周辺(45林班に-01)
 内 容：林床整備と枯損木などの除伐
【参加者】 石原順子 泉家恵子 後藤和子 武田壽夫

(午前) 宮本廣 山本國雄 計6名

2019年3月17日(日) 9:30~13:00

天 候：少雨(気温：2℃)
 エリア：作業小屋周辺(45林班に-01)
 内 容：林床整備と枯損木などの除伐
【参加者】 泉家恵子 大本孝子 斧田一陽 工藤貴士
 武田壽夫 中村賢三 福西勇之助 宮本廣 山田真也
 山本國雄 体験1 計11名

山岳・スキー映画の世界 劇映画編 1

嶋岡 章

映画のジャンルには、ドラマ、史劇、活劇、スリラー、SF、西部劇、戦争映画、音楽映画&ミュージカル映画などなど多岐にわたる。ここでは皆さんに一番興味があるとおもわれる山岳映画とスキー映画を紹介しよう。

I ヨーロッパ映画 <第二次大戦前>

1920年代後半から1930年代後半にかけて、山岳映画・スキー映画はドイツ・オーストリア映画界が世界を席卷していて他国の追随を許さなかった。それをリードしたのは、アーノルド・ファンク、ルイス・トレンカー、レニ・リーフェンシュタール、ゼップ・リストの4人である。一方、ドイツの隣国フランスはヨーロッパ・アルプスの最高峰モンブランを有しながら山岳・スキー映画ではドイツにひけをとっていた。

1『アルプス征服』独 1924 (無声)

監督：アーノルド・ファンク 出演：ハンス・シュナイダー、フリーダ・リヒャルト、エルナ・モレーナ、ルイス・トレンカー

2『聖山』独 1926 (無声)

監督：アーノルド・ファンク 出演：レニ・リーフェンシュタール、ルイス・トレンカー、エルンスト・ペーターセン、フリーダ・リヒャルト

この作品の成功により、アーノルド・ファンクは山岳・スキー映画の第一人者となり、以後多くの作品を撮ることになる。



美しいアルプスを背景に舞姫のレニ・リーフェンシュタールをめぐってルイス・トレンカーとエルンスト・ペーターセンの三角関係が展開する。そして、ふたりが厳しい雪山をアタックする。この登攀場面が白眉である。だが途中のテラスで言い争いとなりエルンストが足を滑らせ宙づりとなる。ルイスが引っ張り上げようとするが持ち上がらない。そのままの状態で一晩を明かす。翌朝、救援隊がかけつけるが、ルイスは幻覚をみてテラスから飛び込み二人は墜死する。最後は悲惨ではあるが、前半のスキーのスピード競争場面や両手をぐるぐるまわすジャンプなどが楽しい。ツェルマツでロケをしたようで、マッターホルンやモンテ・ローザが背景にでてくる。

この映画でデビューしたレニ・リーフェンシュタールは以後、山岳・スキー映画のヒロインとして活躍する。その後、監督にも進出し、ベルリン・オリンピックの記録映画『民族の祭典』『美の祭典』を監督している。

3『大なる跳躍』独 1927 (無声)

監督：アーノルド・ファンク

4『死の銀嶺』独 1928 (無声)

監督：アーノルド・ファンク、G・W・パブスト 出演：グスタフ・ディースル、レニ・リーフェンシュタール、エルンスト・ペーターセン

グスタフ・ディースルはピッツ・パリュ山で妻を失った過去を持っている。ある日、その北壁にアタックする。エルンスト・ペーターセンとその許婚レニ・リーフェンシュタールも同行することになる。この登攀場面がすばらしい。しかし、エルンストが「ラストはもういやだ。トップをやりたい」と駄々をこね先行するが、たちまち雪崩のためにスリップし宙づりとなる。グスタフはそれを救出するが自らも足を骨折し動けなくなる。テラスで救援を待つ。エルンストが凍死しかけたのでグスタフは

自分の上着を着せてやる。そして死を覚悟して亡き妻の元へ旅立つのであった。救援隊が駆け付けたのはその後だった。

遭難位置を捜索するのに飛行機が活躍するが、この場面のスリリングな撮影と美しい雪山の景色が評判となった。

5『マッターホルン』独 1928 (無声)

監督：マリオ・ボンナルト、ヌンチオ・マラソンマ 出演：
ルイス・トレンカー、マルチェラ・アルバニ、クリフォード・マクラグレン

エドワード・ウィンパーとジャン・アントワース・カレルのマッターホルン初登頂争いを描いた作品。もちろんルイス・トレンカーがウィンパーを演じている。

6『極北の叫び』独 1929 (無声)

監督：ヌンチオ・マラソンマ 主演：ルイス・トレンカー、
エファ・フォン・ベルネ、ニコ・デュロワ、マックス・ホルス
ベール

7『雪山の騎士』独 1930

監督：マリオ・ボンナルト 出演：ルイス・トレンカー、エメ
リッヒ・アルバート、カール・スタイナー、マリー・グローリー

8『モンブランの嵐』独 1930

監督：アーノルド・ファンク 出演：ゼップ・リスト、レニ・
リーフェンシュタール、エルンスト・ウデット



ゼップ・リストはモンブラン山頂に丸太小屋を建てて気象観測に情熱をかたむけていて、下界とは無線通信で連絡していた。山麓シャモニーの天文台で研究している博士の娘レニ・リーフェンシュタールがモンブランに登ったとき、二人はお互いに心惹かれる。その

後、レニがゼップの親友を看護したことからゼップはレニが親友を愛していると思い、恋を諦め下山するのを思いとどまる。やがてモンブランは幾日も嵐に見舞われ、天文台にSOSの信号が届くが…。

現在、モンブラン山頂に気象観測所はないが、シャモニーの山岳博物館にその室内が再現されている。まことに粗末な小屋で、苦勞のほどがしのばれる。

9『白銀の乱舞』独 1931

監督：アーノルド・ファンク 出演：ハンス・シュナイダー、レニ・リーフェンシュタール
レニ・リーフェンシュタールがハンス・シュナイダー

にスキーを習うが、転倒につぐ転倒で笑わせる。彼女は、あえて初心者演じている。そうでなければ笑わせる芸当などできるはずがない。それは後半になって実証される。後半は村人たちが「キツネ狩り」ゲームに興じる。キツネ役のスキーヤーを追いかけ、キツネ役のかぶっている帽子を取ったら村人の勝ち、逃げ切ったらキツネ役の勝ち、というゲームである。キツネ役になるのが当時名スキーヤーの誉れ高いシュナイダーとレニの二人。両人の滑りっぷりは爽快である。この場面は、短いショットをリズムカルにつなぎ合わせたもので、その編集の妙味に感服する。二人のコメディリリーフ役のスキーヤーも登場し、随所で珍妙なスキーを披露して笑わせている。アーノルド・ファンクの演出は、前述『聖山』におけるスキーのスピード競争シーンで見せた切れ味をさらに発展させていて見事である。この作品は現代でも鑑賞に耐えるスキー映画の傑作である。「キツネ狩り」のシーンはYou Tubeでも見られるので、ぜひ楽しんでいただきたい。

10『火の山』独 1931

監督：ルイス・トレンカー、カール・ハートル 出演：ルイス・トレンカー、ルイジ・セルヴェンティ、リッシ・アルナー
山岳ガイドのルイス・トレンカーはイタリアの貴族ルイジ・セルヴェンティと親友で山登りを楽しんでいたが、第1次世界大戦が勃発し、二人はオーストリア軍とイタリア軍に分かれて戦うことになる。山頂に立てこもるオーストリア軍をイタリア軍が攻撃する。急斜面の氷壁登攀、スキーをふんだんに使った攻防が繰り広げられ、この場面がこの作品の見どころである。結局二人は死なずに生き残り、戦後、再び仲良く山に登るのだった。

11『アルプスの乱舞』独 1932

監督：ルイス・トレンカー、エドウィン・H・ノッフ 出演：
ルイス・トレンカー、ヴィルマ・バンキー、ヴィクター・ヴァルコニ、ハウル・ビルト

ナポレオンのフランスとバワリア連合軍は破竹の勢いでチロル地方に迫っていた。医学生ルイス・トレンカーは大学が閉鎖されたので故郷のチロルに帰ることになる。その途中でバワリア執政官の娘ヴィルマ・バンキーに出逢い愛し合うようになる。だが故郷に帰ってみると、家は焼かれ、住民は殺されていた。そこでチロルの自由のために戦う決意をする。陰ながらヴィルマ・バンキーがそれを助ける。しかし最後には、連合軍に捕まり処刑されてしまう。しかし彼の祖国愛は決して消えず、英霊は昇天しても永久にチロル万歳を唱えるのであった。

12『青の光』独 1932

監督：レニ・リーフェンシュタール 出演：レニ・リーフェンシュタール、マティアス・ヴィーマン

山岳・スキー映画のヒロインであるレニ・リーフェンシュタールが監督に乗り出し、自らも主演した作品。

13『SOS 氷山』米・独 1933

監督：ティ・ガーネット 原作：アーノルド・ファンク 出演：ゼップ・リスト、レニ・リーフェンシュタール、ロド・ラ・ロック

ゼップ・リストは、ロド・ラ・ロックを隊長とする探検隊に加わってアイスランドに向かう。一行は氷原に到着するが、隊長は征服欲に憑かれ単独で先行する。やがて浮氷で遭難している隊長を発見し、ゼップはSOSをベルリンに向け発信する。一足先に隊長夫人のレニ・リーフェンシュタールは、飛行機で救援に駆け付けるが氷山に触れて炎上してしまう。しかし彼女は、運よく助かる。ゼップ・リストは、エスキモーに救援を求めようと出発するが、途中でベルリンから飛んできた救援機に救助される。隊長も夫人共々救助される。前述(4)『死の銀嶺』と同様、飛行機が活躍している。この作品は、正確にはアメリカ映画であり、ドイツが共同製作にあっている。ティ・ガーネットは、アメリカの映画監督である。

14『モンブランの王者』独 1934

監督：アーノルド・ファンク 出演：ゼップ・リスト、ブリギッテ・ホルナイ

ミシェル・ガブリエル・パカールとジャック・バルマのモンブラン初登頂物語である。ゼップ・リストがバルマを演じている。センセーショナルな題材なのに、登頂を果たし下山してきても盛大な出迎えシーンなどなくて、静かに自宅へもどりベッドにもぐりこむだけである。

地味といえば地味な作品だった。

『マッターホルン』ではドイツ人のルイス・トレンカーがイギリス人のウィンパーに扮していたが、この作品でもドイツ人のゼップ・リストがフランス人のバルマを演じている。

15『銀嶺に帰れ』独 1934

監督：ルイス・トレンカー 出演：ルイス・トレンカー、マリア・アンダーガスト、マリアン・マーシュ

16『山は呼ぶ』独 1937

監督：ルイス・トレンカー 出演：ルイス・トレンカー、ハイデマ・リー・ハータイヤ

17『舞踏会の手帖』仏 1937

監督：ジュリアン・デュヴィヴィエ 出演：マリー・ベル、ピエール・リシャール・ウィルム

これは純粹には山岳映画ではない。ジュリアン・デュヴィヴィエ得意のオムニバス映画の傑作で、その挿話のひとつが「山男」を扱っているので採り上げた。

未亡人マリー・ベルがはじめて舞踏会に出たときに踊った相手の名を手帖に控えていて、彼らを訪ねる旅になる。しかし、甘い感傷を求める旅のはずだったが、そこには厳しい現実が待ち受けていて幻滅を味わうばかりだった。ダンスの相手のひとりピエール・リシャール・ウィルムは、マリー・ベルのことが忘れられず、未だに独身を続けていて山のガイドをしている。二人は、アルプスの山を登り、山小屋に到着する。マリーは、ピエールと再婚しても良いなと思い始めていた。そこへ遭難事故の知らせが入り、ピエールは急遽救助に向かう。マリーは、彼には彼の世界があることに気付き、ひとり山小屋を後にするのだった。ピエールはソフト帽を斜めにかぶ

スケッチ同好会 例会のご案内と報告

第30回 【案内】

日時 2019年7月8日(月)
 行先 ポーアイしおさい公園 神戸学院大学
 集合 ポートライナーみなとじま駅 改札口
 午前10時
 申込み 7月1日(月)迄 担当：横山規江
 e-mail : inatyokoyama@ares.eonet.ne.jp
 ☎ 090-7112-1658
 備考 雨天の場合 支部ルーム
 詳細は後日参加者に連絡

第31回 【案内】

日時 2019年9月9日(月)
 行先 万博記念公園(入場料は各自負担)
 集合 万博公園 正面入り口前 午前9時半
 申込み 9月2日(月)迄 担当：薦田佳一
 e-mail : komoda-keimasa@giga.ocn.ne.jp
 ☎ 080-5704-1731
 備考 詳細は後日参加者に連絡

【報告】第28回

雨天の為、支部ルームにて今後の打合せ也

り、それがいかにも山男らしく、とても格好良かった。

18『青春乱舞』 仏 1938

監督：クリスチャン・ジャック 出演：マックス・デアリー、
アンリ・プレール、ジャン・テシュ

これはスキーを材料にした軽喜劇である。スキー場面では、パリ・スキー・クラブのルイス・アグネルのスキーが賑やかである。

19『炎の手帖』 独 1937

監督：ルイス・トレンカー 出演：ルイス・トレンカー、フリッツ・カンパー

※2・8：DVD、4：ビデオ あり

【つづく】

ホームページ・リニューアル・オープン

4月10日、関西支部のホームページをリニューアル・オープンしました。これに伴いURLを変更しています。スマートフォンにも対応しています。

〔新ホームページのURL(アドレス)〕

<http://jac.or.jp/kns/>

または <https://kansaijac.jimdofree.com/>

Room日録 2019年

2月 3日(日) ナンガマリ報告書編集会議	3月11日(月) 安全委員会	4月 3日(水) 会計処理
5日(火) 茶話会	12日(火) HP移行作業	4日(木) HP移行作業
11日(月) ナンガマリ報告書編集会議	ナンガマリ報告書編集会議	7日(日) 支部事務処理
13日(水) 会計処理	13日(水) 支部報発送	8日(月) 会計処理
20日(水) 登山文化研究会	関西登山史研究会	HP移行作業(~4/9)
20日(水) 役員会	14日(木) HP移行作業(~3/15)	10日(水) 役員会
25日(月) 三役打合せ	18日(月) 図書整理作業	11日(木) 会計処理
27日(水) 夏山検討会	登山文化研究会	15日(月) 本山寺森林づくりの会総会
登山文化研究会打合せ	20日(水) 役員会	16日(火) 支部事務処理
3月 1日(金) 財務委員打合せ	22日(金) 会計処理	17日(水) 80周年事業会計打合せ
HP移行作業(3/4~3/7)	大阪府岳連寄贈書引き渡し	30年度会計監査
8日(金) 登山文化研究会(山の音楽)	24日(日) 財務資料作成	評議員会
三役打合せ	25日(月) 財務委員打合せ	総務委員会
10日(日) ナンガマリ報告書編集会議	26日(火) 会計処理	23日(火) 総会準備
11日(月) スケッチ同行会	27日(水) 山行委員会	24日(水) 総会準備
HP移行作業	夏山検討会	25日(木) 総会残務処理
	29日(金) 財務委員打合せ	

受贈一覧

(2019.2.1～2019.4.30受理分)

ACKU-news 43 神戸大学山岳会・
山岳部

エヴェレストが教えてくれたこと 平
林克敏著 山と溪谷社 [寄贈・平
林克敏様]

山岳おおさか No.219 大阪府山岳連
盟
登山月報 第599, 600, 601号 日本山
岳・スポーツクライミング協会
兵庫山岳 第620, 621, 622号 兵庫県
山岳連盟
日本山岳会支部報
・[東京] たま通信 第35号

・福井支部報 第32号
・JAC北九だより 第88号

※発行者と同一の寄贈者は、御芳名の
表示を省略

※電子版による受贈は、掲載省略

2019年7月～9月 支部山行計画

19-15 4000山グランプリ07

「暁晴山 1077m」

日 時：7月13日(土)・14日(日)

コース：寺前駅～上小田(沢歩き)黒岩滝～暁晴山～坂
ノ辻峠～寺前駅

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい
テント山行 山岳保険加入が必須

申込み：7月6日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

19-16 しっかり歩こう

「小野アルプス 惣山(小野富士)・紅山」

日 時：7月15日(祝・月)

集 合：JR加古川線・市場駅 午前9時半

コース：市場駅～白雲谷温泉ゆびか～日光峠～アザメ
峠～惣山～岩倉峠～紅山～鴨池～粟生駅

地 図：2.5万分の1「三木」[社]

備 考：歩行距離約20km 熱中症対策要
岩場あり 場合によってコース変更あり

申込み：7月7日(日)迄 (担当：山内幸子)

19-17 4000山グランプリ08

「焼山 1798m」

日 時：7月27日(土)・28日(日)

コース：中津川駅～黒井沢～上手山峠～阿岳～焼山～
上手山峠～中津川駅

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい
テント山行 山岳保険加入が必須

申込み：7月20日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

19-18 4000山グランプリ09

「スバリ岳2752m・烏帽子岳2628m」

日 時：8月10日(土)～13日(火)

コース：スバリ岳～針ノ木岳～蓮華岳～北葛岳～不動
岳～南沢岳～烏帽子岳

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい

※後尾に申込み先連絡先掲載【いずれも締切厳守】

テント山行 山岳保険加入が必須

申込み：8月3日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

19-19 4000山グランプリ10

「三十人ヶ仙1172m・天狗岩1197m」

日 時：8月24日(土)・25日(日)

コース：美作加茂駅～倉見演習林～三十人ガ山～天狗
岩～美作加茂駅

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい
テント山行 山岳保険加入が必須

申込み：8月17日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

19-20 六甲山を歩く

「徳川道を歩く」

日 時：8月31日(土)

集 合：阪神電車・御影駅改札口 午前9時

コース：阪神御影駅～阪急六甲駅～柚谷堰堤～柚谷峠
～シェール・徳川道出合～森林植物園東口～
小部峠～神鉄北鈴蘭台駅

地 図：2.5万分の1「神戸首部」

備 考：歩行約15km 約7時間(休憩除く)
森林植物園入園料¥300必要

申込み：8月21日(水)迄 (担当：松仲史朗)

19-21 沢登り例会

「四国剣山・祖谷溪支流の深谷川」

日 時：8月31日(土)・9月1日(日)

コース：31日朝大阪(車)見ノ越(沢登り)沢中泊
1日(沢登り)次郎笈-剣山-見ノ越(車)大阪

備 考：レベル中級

申込み：8月21日(水)迄 (担当：茂木完治)

19-22 4000山グランプリ11

「花知ヶ仙1278m」

日 時：9月21日(土)・22日(日)

コース：津山駅～石越～遠藤～林道終点～花知ヶ山～

遠藤～津山駅

備考：詳しくは担当者に問い合わせ下さい

テント山行 山岳保険加入が必須

申込み：9月14日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

19-23 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く15

「柳生街道I・笠置山コース」

日時：9月26日(木)

集合：近鉄奈良駅西改札口前 午前9時

コース：近鉄奈良駅前(バス)忍辱山BS～夜支布山口
神社～南明寺～芳徳寺～柳生BS～笠置寺～
JR笠置駅

地図：2.5万分の1「柳生」「笠置山」

備考：歩行約13km 約5時間30分(休憩除く)

平成31年2月に中止した山行

申込み：9月18日(水)迄 (担当：久保和恵)

19-24 しっかり歩こう

「丹波の山 金山から黒頭峰・夏栗山」

日時：9月28日(土)

集合：JR篠山口駅 午前8時15分

(8時25分発バス乗車)

コース：追入～金山～鐘ヶ坂峠～瓶割峠～黒頭峰～夏
栗山～宮田

地図：2.5万分の1「宮田」「篠山」

備考：歩行距離約20km

金山に「鬼の架橋」あり バスの便が1本しか

ないのでタクシー利用になるかもしれません

申込み：9月20日(金)迄 (担当：山内幸子)

申込み先一覧

久保和恵 unclertorys05-kazu@nifty.com

重廣恒夫 tsuneo.shigehiro@asics.com

松仲史朗 s_matsunaka@jbsvc.co.jp

茂木完治 yib03510@nifty.com ☎080-3103-6770

山内幸子 sacchyama2f0710@yk2.so-net.ne.jp

関西支部 kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

ステップアップ登山教室 一般対象

(会員参加可能、但し有料 1回1,500円)

【初級】

7月6日(土) 金剛山 細尾谷

8月8日(木) 座学

9月7日(土) 吉野 青根ヶ峰

【中級】

7月9日(火) 屏風川中俣谷・鎌ヶ谷左ルート

8月8日(木) 座学

9月17日(火) 屏風川右俣谷・中俣谷

【上級】

7月18日(木) 不動岩周辺

8月8日(木) 座学

9月26日(木) 六甲山 三ツ下谷

2019年7月～9月 自然保護行事案内

1 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)

活動日：7月4日(木)・21日(日)・8月1日(木)・18日
(日)・9月5日(木)・15日(日)

予備日(雨天中止の場合 翌週同曜日)

集合：JR高槻駅北口アルプラザ前 午前8時40分

作業内容：人工林林床整備・常緑広葉樹除伐整備・倒
木整備・歩道保全整備など

*体験作業・入会 歓迎

2 東お多福山ススキ草原復元活動

活動日：7月17日(水) 予備日(雨天中止の場合 翌日)

集合：JR芦屋駅南口 午前8時30分

作業内容：選択刈払整備・植生調査

3 自然観察会・森林観察会

・8月5日(月) 淀川 鶴殿ツバメの囀入り観察

集合：JR高槻駅南 バス5番乗場 午後4時40分

詳細は参加希望者に別途連絡

当日集合場所への直接参加可

※6月23日の「バイカモ観察」は開花期に合わせて繰り
上げ開催済み

・本山寺山の森・東お多福山の活動日に観察会随時受
入れ

問い合わせ・申込み先

斧田一陽 ☎&Fax 072-633-6556 / 090-4037-4542

田島聖子(東お多福山) ☎ 078-411-3837

河野直子(ツバメ囀入り) ☎ 072-751-8784

※締切：開催日の一週間前まで

安全委員会 講習会案内

川の徒渉、ビバーク体験

期 日：9月8日(日)

場 所：京都北山・清滝川本流 夫婦橋～毘沙門橋

集 合：JR京都駅中央口 駅前JRバス乗場

午前8時15分(周山行8：30発乗車)

内 容：川の安全な渡り方とツエルトの使い方

装 備：濡れてもよい服装・靴、着替え、不要な靴下、
ストック(所持してればツエルト)

申込み：8月23日(金)迄 (担当：茂木完治)

☎ 080-3103-6770 Fax 06-6339-0959

e-mail：yib03510@nifty.com

山岳文化研究会(山の民俗・宗教分野)

女人大峯「稲村ヶ岳-大日山」山行 へのお誘い

日 時 7月20日(土)・21日(日)

行 先 稲村ヶ岳-大日山に登拝し、女人大峯関連寺
院に立ち寄る

集 合 近鉄吉野線下市口駅 午前9時15分
(奈良交通バス9:20発洞川行乗車)

備 考 山上辻・稲村小屋宿泊(1泊2食8000円)
参加者には後日詳細連絡

申込み 7月10日(水)迄 (担当：岩崎しのぶ)

e-mail：sinobunr4822@nike.eonet.ne.jp

電話：0743-74-2259/090-5365-8446

〈編集後記〉

☆ここ2年の課題だった関西支部80周年記念事業、東ネパール登山隊ナンガマリⅡ峰登頂の報告書を、ようやく皆さんの手元に届けることができました。たいへん遅くなりましたことを、この紙面をお借りしてお詫びいたします。また、紙面でお読みいただきましたとおり、茂木さんが、新支部長に就任されます。よろしくお願ひします。金井前支部長、お疲れさまでした。(加藤)

第176号 2019(令和元)年6月10日 発行
発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22
梅田東ビル3階 304号室
公益社団法人 日本山岳会関西支部
e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00930-6-55950
発行者 茂木完治
編 集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄
制 作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28

山の日関連行事

「山の日」講演会のご案内

無料・一般参加可

日 時 8月21日(水) 午後6時半～(開場午後6時)

演 題「仕事と山と人 -70年の登山に想う」

講演者 平林克敏 氏

(エベレスト登頂者・日本山岳会元副会長)

会 場 OIT梅田タワー 2階セミナー室204号室

*会場定員100名のため満席の際はご容赦ください。

●●● 頒布案内 ●●●

日本山岳会関西支部東ネパール登山隊2016

ナンガマリⅡ峰初登頂報告書

『未知の頂へ NANGAMARIⅡ』

頒布価格：1500円(送料込)

購入希望者は

郵便番号、住所、氏名、電話番号 を明記して

e-mail: tsuneo.shigehiro@asics.com

または Fax: 078-855-6667 にて送信の上

代金を下記にお振込みください。

郵便振替口座 00980-3-166138

加入者名：日本山岳会関西支部 第2口座



私たちは
人と自然をつなぐ道具を
提案します。

IWATANI-PRIMUS
イワタニ・プリムス株式会社
www.iwatani-primus.co.jp
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20

山岳雑誌 岳人

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「がくじん岳人」

毎月
15日
発売

【7月号特集】上高地

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!

価格815円(+税)

▶年間購読がおすすすめ 購読割引 送料無料 限定品プレゼント

通常価格
12冊

9,780円
(+税)

年間購読
12冊

8,965円
(+税)

1年間で、1冊分
815円おトク!



年間購読のお申し込み WEB <https://www.gakujin.jp/> モンベルストアでも受付中

お問い合わせ モンベルポスト ☎0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

SUNDAY AFTERNOONS™



- ★UPF50+で紫外線をしっかりカット!
- ★畳めるツバでコンパクトに。パンツのポケットでも、ザックの隙間でも!



【カラー】全6色
【サイズ】M (58cm), L (60.5cm)
【重量】73.7g

ウルトラアドベンチャーハット ¥5,000+税

輸入元: (株)ケンコー社 TEL:06-6374-2788

山田屋 ロッジ

ハイキング用品から本格登山・クライミング用品まで、最新の山登りの道具をたくさん揃えています。経験豊富なスタッフ一同、100%接客をモットーに皆様のご来店を心よりお待ちしております。

夏山シーズン到来! 新商品続々入荷中!!

大阪店 TEL 06-6341-5578
大阪市北区梅田1-11-4 駅前第4ビル2階

京都店 TEL 075-222-0363
京都市中京区御池通高倉西久高宮町200
千代田生命御池ビル1階

営業時間 11:00 ~ 20:00

ロッジプレミアムショップ
楽天 <https://www.rakuten.co.jp/e-lodge-2>
Yahoo <https://store.shopping.yahoo.co.jp/lodge-premiumshop/>
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/lodge4>
Instagram京都 <https://www.instagram.com/lodgekyoto/>
Instagram大阪 <https://www.instagram.com/lodge.oosaka/>
検索エンジンで「ロッジ」を検索してください。

URL一覧QR

【山旅専門の旅行会社】アルパインツアーサービス(株)

【お盆休み利用】マレーシア最高峰 Mt. キナバル登頂 5日間

出発日~帰着日	旅行代金 (大阪発着)
8/10 (土) ~ 8/14 (水)	¥258,000

標高 3,300m付近に建つ山小屋に1泊し、コンパクトな日程でマレーシア最高峰 Mt.キナバル(4,095m)の頂上を目指します。お盆を利用した設定をご用意いたしました。



▲最高峰のローズ・ピークを目指す

カラコルムの名峰 ディラン・ラカポシ ベースキャンプトレッキング 11日間

出発日~帰着日	旅行代金 (大阪発着)
9/9 (月) ~ 9/19 (木)	¥398,000

カラコルムの名峰ディランとラカポシの名峰群と広大な氷河を望むトレッキングを楽しみます。ベースキャンプで連泊しながら、周辺のハイキングを楽しみます。



▲ベースキャンプ付近からのディランとミナピン氷河

